

令和 7 年 7 月 1 日
消 防 庁

令和 7 年安全功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）

令和 7 年安全功労者内閣総理大臣表彰（消防関係）受賞者は、次のとおりです。

個人 3 名、団体 3 団体

（受賞者名等は、別紙の受賞者名簿に記載されています。）

安全功労者内閣総理大臣表彰は、毎年 7 月 1 日を「国民安全の日」とし、「国民の一人ひとりがその生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、その安全確保に留意し、これを習慣化する気運を高め、産業災害、交通事故、火災等国民の日常生活の安全を脅かす災害の発生の防止を図る」という趣旨に基づき、行われているものです。

○ 安全功労者内閣総理大臣表彰式

- 1 日 時 7 月 1 日（火）11 時 30 分
- 2 場 所 総理大臣官邸大ホール



連絡先

消防庁総務課

渡部係長・小沼事務官

電話 03-5253-7521（直通）

E-mail: fdma-soumukahyoushou_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示
しております。送信の際には、「@」に変更してくだ
さい。

令和 7 年

安全功労者内閣総理大臣表彰
受賞者名簿
(消防関係)

令和 7 年 7 月 1 日

消 防 庁

令和 7 年安全功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

(分野別五十音順)

(火災予防関係)

〔個人〕

藏 菌 多鶴子 (鹿児島県女性防火クラブ連絡協議会会長)

原 裕 子 (三重県・名張市女性防火クラブ連絡協議会会長)

山 田 幸 雄 (北海道・札幌石油燃焼器具整備業協議会会長)

〔団体〕

公益社団法人さいたま市防火安全協会 (埼 玉 県)

中津川市連合女性防火クラブ (岐 阜 県)

はねかわ太陽認定こども園幼年消防クラブ (栃 木 県)

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	くらぞの たづこ 藏 菌 多鶴子
住 所	鹿児島県指宿市
主 要 経 歴 等	鹿児島県女性防火クラブ連絡協議会会長
功 績 の 概 要	平成 22 年から鹿児島県婦人防火クラブ連絡協議会（現：鹿児島県女性防火クラブ連絡協議会）副会長、会長に就任して、豊富な識見と卓越した指導力により協議会の育成発展に尽くした。 さらに、令和 5 年には全国女性防火クラブ連合会、一般財団法人日本防火・防災協会の理事にも就任するなど、各種の消防関係団体の要職に就き、会の育成発展を通して、防火思想の普及・啓発に尽力し、地元の成川区はもとより指宿市の消防・防災の指導者として活動しており、地域住民の信頼も厚く、地域の安心・安全の普及・啓発に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	はら ゆうこ 原 裕 子
住 所	三重県名張市
主 要 経 歴 等	名張市女性防火クラブ連絡協議会会長
功 績 の 概 要	昭和 57 年に「地域で多発する枯草火災を無くそう！」と一念発起し、つつじが丘北 9 番町女性防火クラブを発足させ、43 年の長期にわたり地域の防火、防災訓練の実施に取り組み、また、全国火災予防運動の一環として実施される行事においても自ら先頭に立って啓発活動を実施するなど、地域の防火、防災意識の高揚に努めた。 また、名張市女性防火クラブ連絡協議会会長として、これまで培った経験をもとに市内各クラブに対し助言を行うなど、組織の充実と後継者の育成に尽力した。 また、「奥さま防災博士」の認定を受け、女性目線での地域防災として、身近にあるサラダ油を使用したランタンの作成など災害時に活用できる知識を地域住民に伝達し、家庭からの自助に大きく寄与した。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
氏 名	やまだ ゆきお 山 田 幸 雄
住 所	北海道札幌市
主 要 経 歴 等	札幌石油燃焼器具整備業協議会会長
功 績 の 概 要	昭和 49 年の札幌石油燃焼器具整備業協議会発足時から入会し、石油燃焼機器に起因する災害防止と安全確保、防火思想の普及啓発に多大な貢献をした。 平成 18 年には、勤勉実直な人柄と熱心な取組が会員に認められ、同協議会の会長として就任した。その豊富な経験と優れた知識を活かし、数々の事業活動を提唱して実施し、会員の防火意識、点検整備技術の向上を図り、石油燃焼機器からの火災発生防止に努めるとともに、春・秋の火災予防運動等の各種行事への積極的な参加、火災原因調査の技術支援、少年消防クラブの育成支援など、組織を挙げて消防行政に積極的に協力し、さらなる防火思想の普及推進に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	こうえきしゃだんほうじん さいたましぼうかあんぜんきょうかい 公益社団法人さいたま市防火安全協会
所 在 地	埼玉県さいたま市
代 表 者	ありやま よしお 会長 有山 佳男
功 績 の 概 要	昭和 48 年 6 月、火災予防の推進と防火思想の普及啓発及び危険物取扱いの安全管理体制強化促進を目的に設立され、以後、防火思想の普及啓発活動と講習事業を中心に様々な事業を展開してきた。特に、春・秋火災予防運動に合わせ、さいたま市消防局等との共催により、市内小学生を対象とした防火ポスターコンクールを開催し、優秀作品を火災予防運動広報用ポスターとして配布掲示するなど児童を含む多くの市民に対する防火思想の普及啓発に貢献した。また、少年消防団の研修活動等を通じて、青少年の人材育成を図るとともに事業所の新入社員を対象とした防火・防災管理講習等を開催するなど、地域や事業所の防火・防災責任者等の育成により、防火安全の徹底と地域住民に対する防火、防災意識の高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	なかつがわしれんごうじょせいぼうかくらぶ 中津川市連合女性防火クラブ
所 在 地	岐阜県中津川市
代 表 者	いざわ さかえ 会長 伊澤 さか恵
功 績 の 概 要	昭和 42 年から 58 年の長期にわたり、初期消火訓練、救命講習、防火防災講習会を開催し防火・防災意識の向上を図るとともに、大地震等の災害に備えて「空き缶コンロによる炊飯」を普及させる取組みを行い、市内はもとより岐阜県内へクラブ員が講師として出向し、空き缶コンロ炊飯講習会を開催し資質の向上に努めた。 また、住宅用火災警報器設置、取替促進の P R を様々なイベントで実施するなど地域の防火・防災意識の高揚に多大な貢献をした。

功 績 概 要

〔火災予防関係〕

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	はねかわたいようになていこどもえんようねんしょうぼうくらぶ はねかわ太陽認定こども園幼年消防クラブ
所 在 地	栃木県小山市
代 表 者	すずき りゅうさく 理事長 鈴木 隆作
功 績 の 概 要	昭和 61 年から 39 年の長期にわたり、未来を担う子どもたちに「火災予防の大切さ」を幼少期から深く根付かせることを目的に、栃木県小山市において初めて設立された幼年消防クラブであり、幼児期からの防火・防災教育を継続的に実施している。 また、地域住民の防火意識の向上に寄与するのみならず、市が実施する各種訓練やイベントへの積極的な参加を通じ、防火防災活動の普及啓発に貢献している。さらに、幼年消防クラブの発展に向けた企画の立案などを行い、消防行政の推進に多大な貢献を果たしており、その活動は消防力の強化にも大きく寄与した。